

⑤	④				③	②	①
ア	と	時	の	(例)	ア	ウ	経
○							
イ	い	の	感	年			
×	う	経	覚	を			
ウ	こ	過	が	経			
×							
エ	と	を	変	る			
×	。	早	化	ご			
オ		く	し	と			
×							
		感	、	に			
		じ	私	時			
		る	は	間			

〔解説〕

(1) 経る⇨経過する

(2) 「客観的な」がポイント。

(3) 反語が使われていることに気づく。「私だけであろうか。(いや、そうではない)」となる。

(4) 「時間の感覚が変化する」にとどめず、年を経た場合、どのように変化するのかまで書くとなおよい答案になる。

(5) イ 「私」の中の「時間の感覚の変化」しか述べられない。

ウ 「年を経たことによる」が正しい。

エ 「長く」× 「短く」○

オ 「今も昔も」× 「今となっては」○